

目指す姿

長野県は1枚のカード※で公共交通機関を利用でき、様々なお店や施設で決済ができます

※10カード（交通系IC全国相互利用サービス）【地域連携ICカード含む】



【10カード】
JR各社が発行する「Kitaca」「Suica」「TOICA」「ICOCA」「SUGOCA」、首都圏の私鉄などで利用できる「PASMO」、
関西の私鉄などで利用できる「PiTaPa」、名古屋市交通局と名古屋鉄道の「manaca」、福岡市交通局の「はやかけん」、西日本鉄道の「nimoca」

【目指す姿が実現した際のメリット】

		10カード利用者	地域連携ICカード利用者
利用者	鉄道・ タクシー・ 県外バス	○県内だけではなく、全国の鉄道・路線バス・タクシーに現金不要でスムーズに乗ることができるようになります。 ○全国のコンビニや各種施設で決済ができるようになります。 ○普段使いの交通系ICカードで県内の鉄道・路線バス・タクシーに乗ることができるようになります	
	県内バス 地域連携ICカード システム導入		
交通事業者		○交通ポイントや福祉ポイントでお得に県内路線バスを利用できるようになります。 ○鉄道・バス共通の定期券が発行できるようになります。	
		○正確な乗降データに基づいた路線再編ができるようになります ○現金取扱事務が減少し、業務を効率的に行うことができます	
市町村		○正確な乗降データに基づいた交通施策の立案ができるようになります	



【参考】交通系ICカードとその他決済手段との比較及び導入に係る支援制度について

【各決済手段の比較】

	シームレス	入手	利用	処理速度	導入コスト	データ利用	定期券
交通系 ICカード	◎ JR等多くの鉄道で 利用可	◎ 誰でも入手可能	◎ 改札機にタッチ	◎ 約0.2秒	△ 比較的高額	◎ 鉄道・バス データ連携可	◎ 鉄道・バスと 一体で利用可
QR決済	× 一部地方鉄道 のみ対応	△ アプリDL必要	△ アプリ起動必要	△ 約1.0秒 +アプリ操作時間	◎ 比較的安価	△ 鉄道との連携は 一部に限られる	△ 鉄道での利用は 一部に限られる
クレジット カード 非接触決済	△ 一部大手私鉄 のみ対応	△ 18歳未満は 発行不可 ※Visaプリペイドカード は6歳以上で発行可能	◎ 改札機にタッチ	○ 約0.35~0.5秒	○ 比較的安価	△ 鉄道と連携困難	× 非対応

【地域連携ICカード導入支援事業（長野県）】（令和7年度まで）

補助対象者	乗合バス事業者等 ※乗合バス事業を運営する市町村・乗合バス事業者及び市町村を 構成員とする協議会を含む
補助対象 経費	地域連携 I Cカードの導入に要する経費（システム開発費、 設備整備費等）
補助率	1/3

※県補助事業を活用する場合一般的な導入スケジュールを踏まえれば、令和6年
秋ごろまでの意思決定が必要

【地域公共交通キャッシュレス決済導入推進事業（国）】

補助対象者	鉄道事業者及びバス事業者等
補助対象 経費	①公共交通においてキャッシュレス決済の利用を可能と するシステム導入費及び改修費 ②キャッシュレス決済に必要な端末費（旅客施設又は車両 内・船内に決済端末機器を設置する費用）
補助率	1/3